

KYT(危険予知トレーニング)



- どのような危険が予測されますか?
- どのような運転をすれば安全ですか?

状況説明

夕方、アイスバーン状態の道路を走行しています。前方左の堆雪の間からバックしてくる車が見えます。

自車はそのまま進んでいきたいのですが……。

ドライバーとして

- イラストを見て、この運転場面に潜む危険要因を挙げてください。
- この場面での安全な運転方法について考えてください。

同乗者として

ドライバーにどのようなアドバイスをすればいいでしょうか。考えてください。

回答例

危険予知ポイント

- ①バックしてきた車を避けようとしてハンドルを切った際、スリップして堆雪に衝突する。
- ②ブレーキを踏んだが停止できずバックしてきた車と衝突する。

※冬道では慎重な運転に徹する

- アイスバーン等の冬道で、「急」のつく動作(急ブレーキや急なハンドル操作など)をすると、車がスリップする危険があります。
- 慣れない冬道では、慎重な運転が第一です。この場面では、バックしてくる車を無理に避けるのではなく、まずは速度を落として動静を確認しましょう。

※乾燥路面走行時よりも速度を落とす

- 冬道では停止距離が長くなることから、乾燥路面と同じ感覚で運転していた場合、危険の発見後にブレーキをかけても止まりきれないおそれがあります。
- 前方車が自車に気づかずバックしてきたとき安全に停止できるよう、速度を落として走行しましょう。